

◎ バイオディーゼル燃料取組実態等調査の概要 (平成22度実績)

＊調査対象事業体

- ・バイオディーゼル燃料原料の回収・購入、バイオディーゼル燃料の製造、利用に取り組んでいる全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会会員及び会員の傘下団体
- ・バイオディーゼル燃料施策・事業に取り組んでいる市区町村
- ・その他バイオディーゼルに取り組んでいる事業者等

＊調査対象期間

- ・平成22年4月1日～平成23年3月31日における実績
(調査時期：平成23年7～8月)

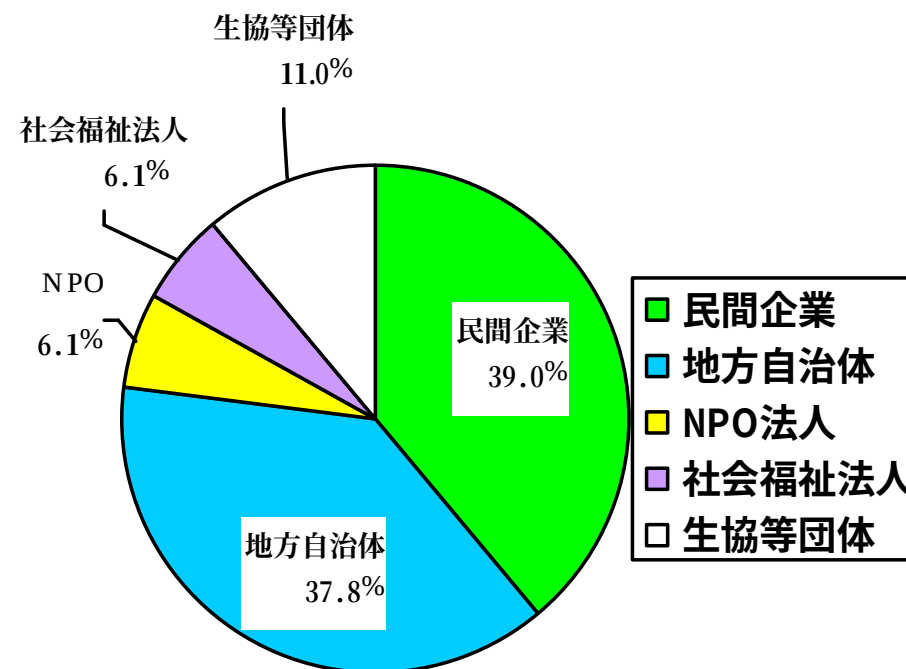
＊調査実施者

- ・全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会

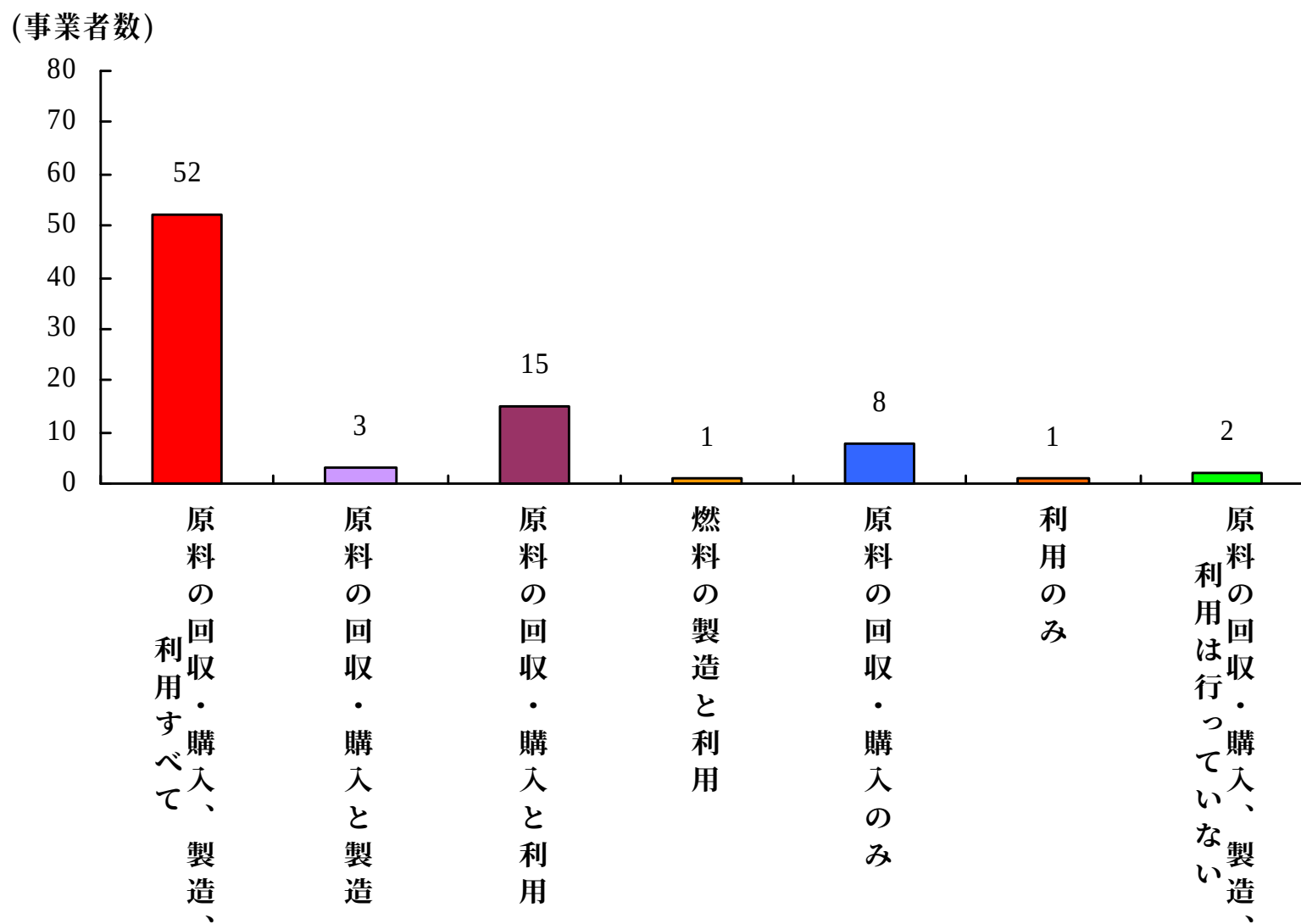
バイオディーゼル燃料の取組主体の組織

平成２２年度実績のある８２事業者から回答があった。

組織	事業者数	割合 (%)
①NPO法人	5	6.1
②民間企業	32	39.0
③地方自治体	31	37.8
④社会福祉法人	5	6.1
⑤生協等団体	9	11.0
合計	82	100.0

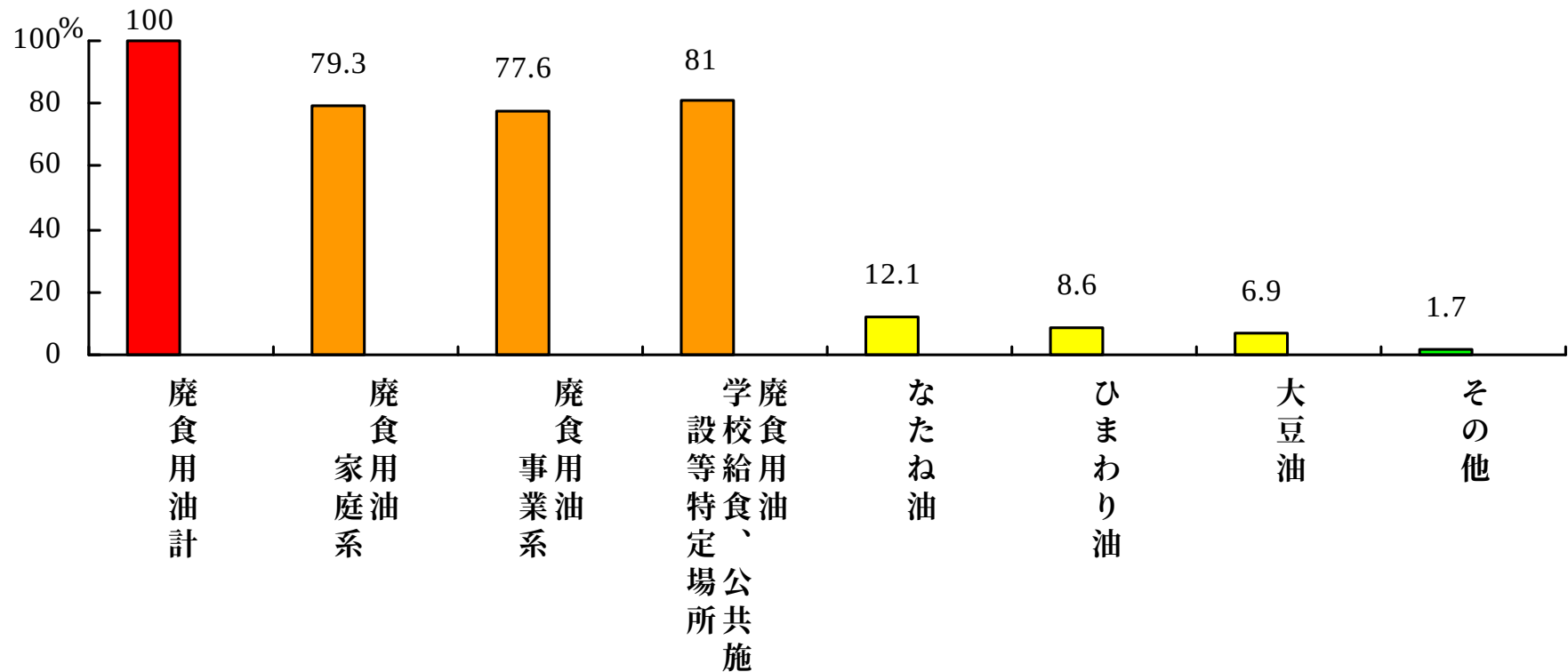


取組形態



バイオディーゼル燃料原料の種類

全製造者 (58事業者＝取組形態「原料の回収・購入と利用」の回答者で委託製造先の回答あった2者を含む) が「廃食用油」を利用している。前年度から原料調達先に大きな変動はみられない。



製造量と製造コスト

①年間製造量：8,652kℓ (該当事業者55/平均149kℓ)

②製 造 率：90.0% (該当事業者51相加平均)

・原料から製造したバイオディーゼル燃料数量の割合

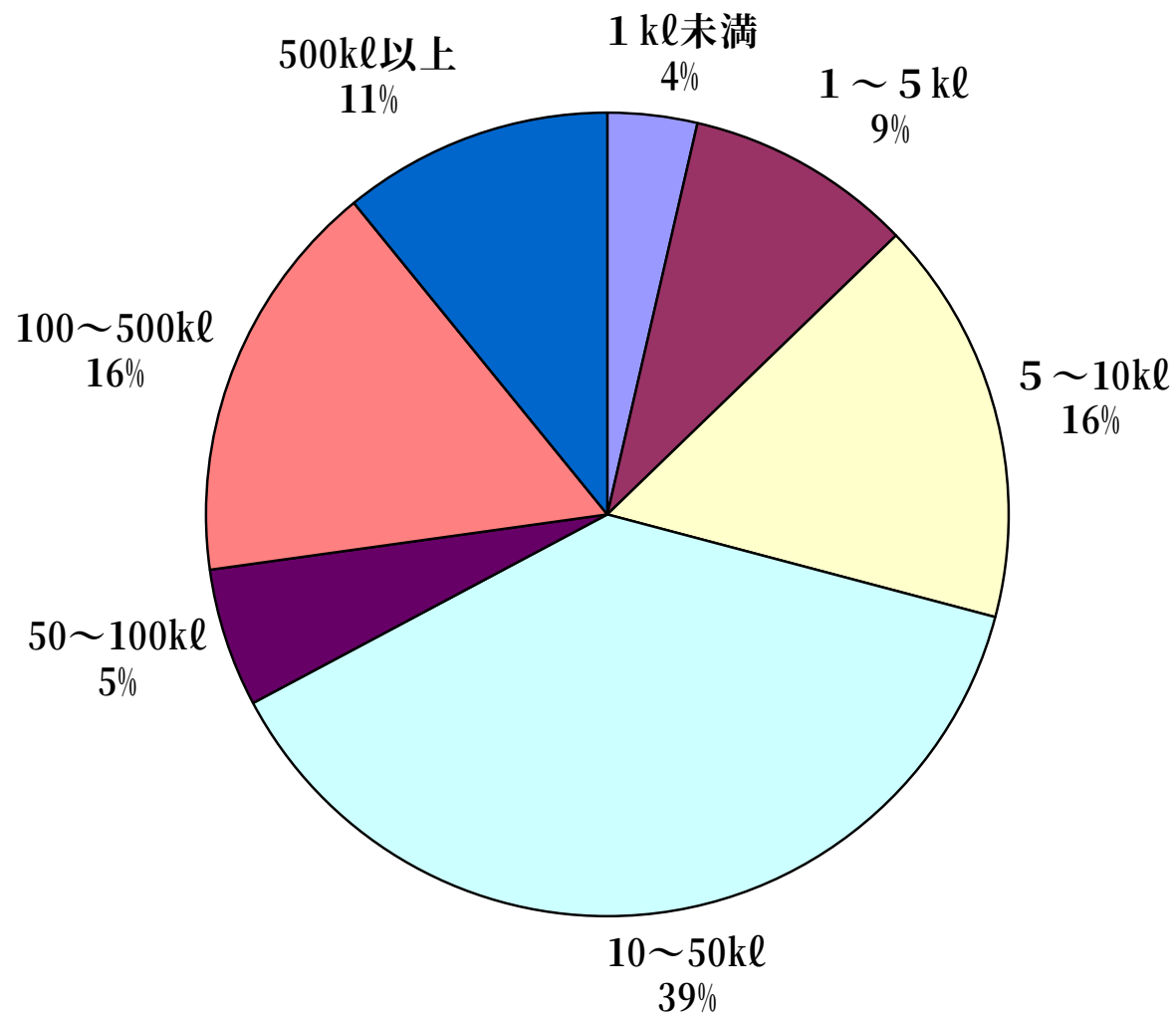
③製造コスト：97.1円／ℓ (協議会推定概算価格)

・回答44事業者単純平均は、168.9円/ℓであったが、回答のうち特に高額的事象 (人件費や減価償却の高額回答) を除いた場合の協議会が推定した概算水準価格である。

＊なお、事業者の稼働日数は、平均147日であった。

バイオディーゼル燃料製造量の規模 (年間)

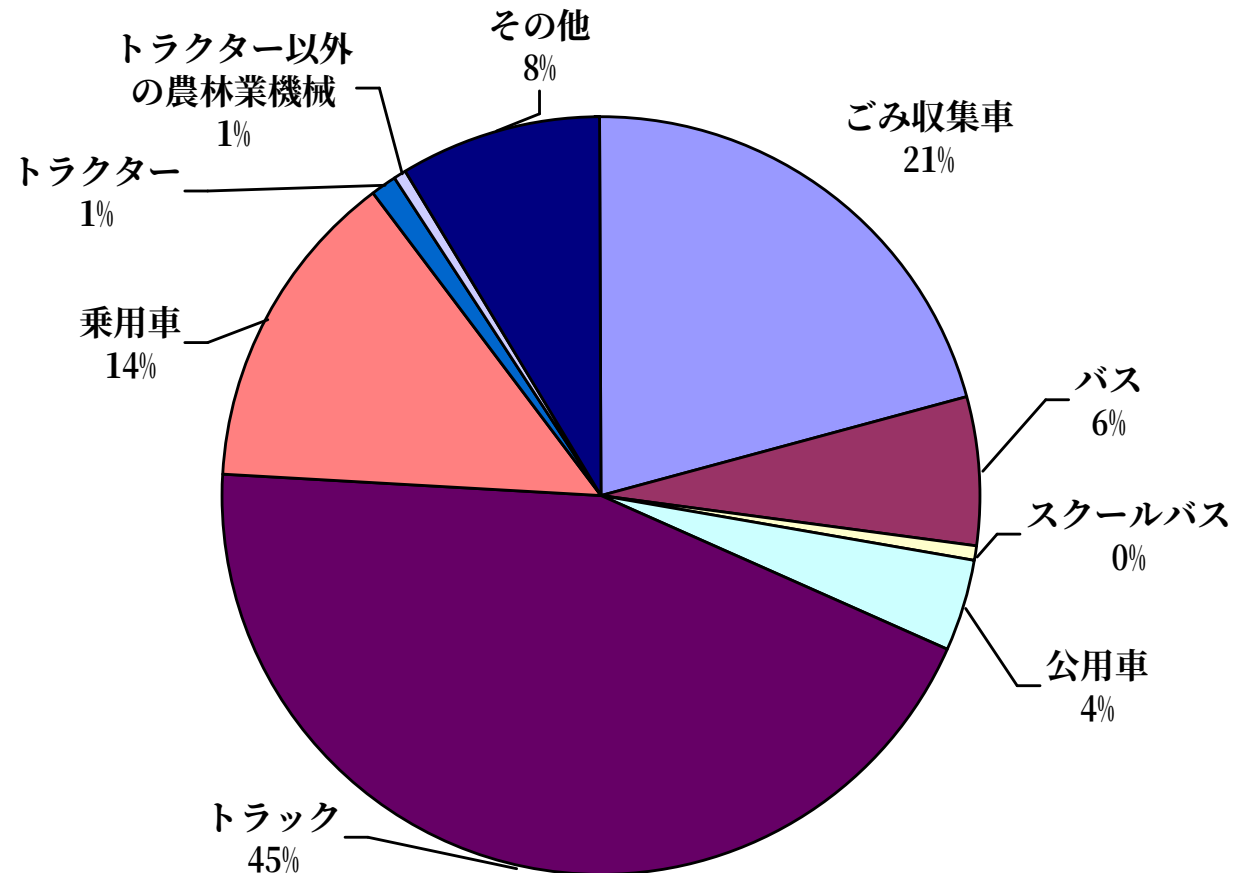
製造量の規模としては、年間10～50kℓが多く、それ以外では平均化されている。



車両等の種類別利用割合

62事業者が利用していると回答し、種類別が判明している総数は1906台。
細分類不明の車両約700台、車両以外約100台を入れると、約2,700台に利用されている。

種類別判明分
1,906台の内訳



協議会活動に対する要望 (回答事業者79／複数回答)

事業者からの要望

- ・車両以外の用途拡大の指針
- ・バイオディーゼル燃料に関する情報提供や相談・コンサルティング
- ・関連税制の見直し

などを挙げる事業者が多く、原料に関する要望も含め多岐にわたっている。

